

いま、アツイのは、なんといっても沖縄だ! 今月は空自那覇基地とオスプレイをクローズアップ!

JWings

「JWing」戦闘機が楽しくなる
ミリタリーマガジン

10 OCTOBER 2012
No.170

連載「月刊F-35」
F-35の新兵器

ここが知りたい!
V-22オスプレイ

岩国搬入とその後 / 沖縄配備の意義
体験搭乗レポート / 最新事故データ

沖縄



JAPAN AIR SELF DEFENSE FORCE
in "OKINAWA"

日本の防空最前線をゆく!

の航空自衛隊

スクランブル多発区域に挑む 第204飛行隊F-15Jと那覇基地に密着



攻撃機としての使用も検討中のイルクート社Yak-130高等練習機は、フル搭載状態でデモフライトを実施



スウェーデンからはJAS39Cグリペンが参加。今年はハンガリー空軍もD型グリペンを地上展示している



ベルギー空軍からはアグスタA109BAソロ・ディスプレイ・チームが参加。英空軍チヌーク同様、固定翼機顔負けの機動飛行を実演した。



来年から各国軍への納入が始まる、欧州共同開発輸送機エアバスミタリーA400M。英空軍での名称は「アトラス」(写真:Rich Cooper)



ドイツ空軍からは第51偵察航空団「インメルマン」のタイガーマイト特別塗装トーネードIDS(45+85)も参加した



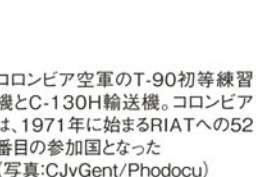
ステファン・フッテン大尉が操縦するオランダ空軍F-16デモチームのF-16AM。今シーズンも引き続き「オレンジ・ライオン」のカラーリングで飛行する



ソロ機(赤スモーク)がアクロ機同様の機動を行うのがユニークなUAE空軍アルフルサン。サウジアラビア空軍のサウジホークスは、今年はトラブルによりRIAT参加を断念した



量産型はRIAT初参加となるMV-22オスプレイ(168225/EH13)。海兵隊航空基地MCASニューリバーのVMM-264所属機



コロンビア空軍のT-90初等練習機とC-130H輸送機。コロンビアは、1971年に始まるRIATへの52番目の参加国となった(写真:CJvGent/Phodocu)



ポーランド空軍は2機のMIG-29を持ち込んだ。機体には第二次大戦当時の英空軍ポーランド部隊第303戦闘飛行隊のエンブレムと、同部隊のエースであるミロスラフ・フェリク少尉の肖像が描かれている

イベント2日目の会場風景。両日で13万人以上がRAFフェアフォードを訪れた(写真:CJvGent/Phodocu)



戦闘機顔負けの機動を見せる、韓国空軍ブラックイーグルスの7番機ソロ。エンジンはF/A-18ホーネットやJAS39グリペンと同じジェネラルエレクトリックF404



全8機によるペンタ隊形で宙返りをした後、下向きに空中開花する「レインフォール」



熱血! 航空祭 レポート

※このレポートは30ページからの続きです

Royal Air Force

Royal International Air Tattoo

ブラックイーグルスは、6部門ある飛行展示賞のうち最優秀賞の「キング・フセイン・メモリアル・ソード」とFRIATメンバーの投票による「アズ・ザ・クロウ・フライズ・トロフィー」の2つを獲得した。今回の訪英では予備2機を含め全10機が展開し、1機ずつ分解・梱包されて、大韓航空のB747フレイターで空輸された。1機目の到着は5月11日だった(写真:Rich Cooper)



KC-767とともにRIAT2012を訪れた入間修武太鼓の演奏は、英国でも大好評。轟音が響く飛行演技の最中にもかかわらず、多くの観客が足を止めて聴き入っていた

7月5日、RAFフェアフォードに到着した航空自衛隊KC-767(07-3604)。たくさんの方々に迎えられた(写真:CJvGent/Phodocu)